

玉造地区商店街活性化プロジェクトチーム  
事務局 中野 雅二  
(新日本カレンダー株式会社 企画・広報室長)

### **好評につき第3弾!**

## **玉造地区商店街が女子学生と創った366日がおトクになるカレンダー!**

(産官学連携 玉造地区商店街活性化プロジェクト)

玉造地区の商店街（玉造商店会・玉造日之出通り北商店街・玉造日の出通り中商店街・玉造幸村ロード）が、商店街と地域の活性化を目的とし、近隣の大阪女学院大学・短期大学と連携し、同じく近隣の新日本カレンダー株式会社の協力を得て、2016年版の日々がクーポン券になった日めくりカレンダーを一昨年、昨年に引き続き制作しました。

また今年度版は、これまでの活動に賛同いただいた商店街近隣の新規商店様の参加もあり、消費者にとってはより充実したものとなっています。

今年度も、一過性のイベントではないお客様を集める本格的な活性化策として、このプロジェクトは一昨年、昨年に引き続き、以下の3つを重要ポイントとして計画されました。

#### **1. 単発ではなく長期間の活性化**

日めくりカレンダーがクーポン券になっており、年間を通して『毎日がおトク』という認識を顧客に持っていただき、継続的に来客を促すことが期待できる。

#### **2. サービス（クーポン）内容に女子学生の発想の取り入れ**

女子学生の発想を取り入れ、学生自身が『これなら行きたい!』と思えるサービスを商店と一緒に考えクーポンにすることで、若い顧客層の来店が期待できる。

#### **3. 店舗単位での継続的な販促の一環として（毎日どこかの店舗が主役に）**

クーポン対象日に来店された顧客に対し、店舗独自のサービス提供によるリピーター顧客化を実現するツールとして期待できる。

これら3つを重要ポイントとし、単に『人』を集めるのではなく、『買っていただけるお客様』を増やし、商店街の活性化、そして地域の活性化を最大の目的としています。

既に、昨年作成したクーポンの効果や今年度分のサービス内容の打ち合わせ等の為、商店街には多くの女子学生が頻りに往来しており、高齢者比率の高い商店街顧客のイメージに変化が生じ、老若男女が万遍なく行き来する商店街へと変貌しつつあります。

## 今回製作した日めくりカレンダーの特徴

- ・卓上でも壁掛けでも使用できるコンパクトなデザイン  
    スタンド（タテ 175mm, ヨコ 95mm）  
    カレンダー本体（タテ 115mm, ヨコ 82mm, 厚さ 20mm） 枚数：397 枚
- ・日めくり自体がクーポン券として使用できる（一部の日を除く）
- ・毎日のデザインが内容、字体含めすべて学生および店主のオリジナル
- ・3 作目にして商店間のサービス重複日の解消に成功（全 3 6 6 日分オトク！）

## 当プロジェクトスタートのきっかけ

このプロジェクトは 2012 年 10 月、新日本カレンダー株式会社社員のアイデアによりスタートした。大阪女学院大学や 4 つの商店街各協同組合代表の賛同を得、また同社社長である宮崎の製作コスト面による全面的な協力も取り付け、一昨年 12 月 1 日に第 1 弾をリリースし、今回はその第 3 弾としてリリースします。

## 前作品（2014～2015 年度版）の効果

アンケートより抜粋

- 1 月中のクーポン持参客は 10 人位あった（回転焼き）
- 日めくりは若い人が珍しがって欲しがる（英会話教室）
- 『おなじみさん』ではない『ご新規さん』が増加した（衣料店）
- 配布完了後もクーポンカレンダーを求めて来る顧客が目立った（菓子屋）
- 女子学生が商店街を往来して、通りの雰囲気全体が華やかになった（子供服屋）
- クーポンにて半額販売した「おはぎ」が、早々に完売した（食堂）：別添写真あり

etc.

## 新たな効果（膨らむ可能性）

第 2 弾は第 1 弾リリース時に比べ、インパクトには欠けるものの、マスコミ報道や Web サイトでの紹介、商工会議所における事例発表会等による反響はやはり大きく、『継続は力なり』と確信するに至り、第 3 弾を製作いたしました。

もちろん、いわゆる『新車効果』はありませんが、より一般消費者目線に立ち、本当に必要とされるサービスを提供できるようクーポン内容に工夫を凝らし、今回のリリースに至りました。

今回作で、プロジェクト発足当初より予定しておりました最低でも 3 年間という試みは一応完結いたしますが、今後、他地域の商店街で使用できる地域交流型交換クーポンの製作や、新たな協働での活性化事業の企画・開発等、地方創生の起爆剤となる可能性をも肌で感じており、大阪発の、地元商店街が核となった地方再生ネットワークの構築へと、さらに夢は膨らんでいます。

## プロジェクトチームの構成

### 参加商店街

- ・玉造商店会 会長：若林 照夫(グリル東洋軒)
- ・玉造日之出通り北商店街協同組合 理事長：小橋 忠(三和ガスセンター)
- ・玉造日之出通り中商店街協同組合 理事長：岡田 安弘(洋菓子オカダヤ)
- ・玉造幸村ロード(非協同組合)

### 参加大学

- ・大阪女学院大学・短期大学 学長：加藤 映子  
大阪市中央区玉造 2 丁目 26-54
- ・参加学生数：26名 リーダー：国際・英語学部3回生 豊福 良子

### カレンダー製作

- ・新日本カレンダー株式会社 代表取締役社長：宮崎 安弘

### 参加商店数 (掲載店数)

|               |             |
|---------------|-------------|
| 玉造商店会         | 17店舗 / 18店舗 |
| 玉造日之出通り北商店街   | 30店舗 / 48店舗 |
| 玉造日之出通り中商店街   | 15店舗 / 24店舗 |
| 玉造幸村ロード(駅前横丁) | 8店舗 / 8店舗   |
| その他           | 2店舗 / 2店舗   |

計72店舗が参加(複数日参加有り) 72/100 参加率72%

### 製作冊数

- ・ 3, 0 0 0 冊 (新日本カレンダー株式会社より無償提供)

### 配布方法

(配布冊数は予定)

#### 11月14日(土)・15日(日)

- ・大阪女学院大学・短期大学の学園祭にて来校者に配布。(300冊)

#### 12月1日(火)

- ・年末大売出しに合わせ、北商店街抽選会場にて先着順に配布。(100冊)  
(新聞チラシ、ポスター、Webサイト等による告知あり)
- ・年末大売出しに合わせ、中商店街にて集中配布。配布方法は現時点では未定。(100冊)  
(年末大売出しチラシに告知予定。)

#### 12月1日(火)～12月15日(火)の売り出し期間中

(期間合計 1, 500冊以上)

- ・各掲載店舗において、独自の配布基準・イベント等を企画し、共同、もしくは店舗単位で配布。

#### 11月中旬

- ・大阪市立真田山幼稚園で、全園児の保護者に配布。(170冊)

#### 12月中旬

- ・大阪市立真田山幼稚園で、地域のお年寄りが集う『お楽しみ会』にて配布。(130冊)

## 主催

・玉造地区商店街、大阪女学院大学・短期大学

## 製作協力

・新日本カレンダー株式会社

## 後援

・天王寺区役所（平成 27 年 1 月 20 日付け 後援名義使用承認済み）

## 協力

・大阪商工会議所（平成 25 年 10 月 21 日付け 協力名義使用承認済み）

## 問い合わせ窓口

### ●プロジェクト全般問い合わせ窓口（プロジェクト事務局）

新日本カレンダー(株) 総務本部 企画・広報室長 中野雅二(マサツグ)

Tel : 06-6972-5888 Fax : 06-6972-9265

### ●商店街問い合わせ窓口

玉造日の出通り中商店街協同組合 理事長:岡田 安弘(洋菓子オカダヤ)

Tel/Fax : 06-6762-1926

### ●大学問い合わせ窓口

大阪女学院大学・短期大学: 崔 大龍(国際・英語学部 英語科教授 経営学博士)  
(チェ デリヨン)

橋本 誠一(キャリアサポートセンター長)

Tel : 06-6761-6093(ダイヤルイン) Fax : 06-6761-6094

### ●当プロジェクト専用 Web サイト

<http://www.543life.com/tss/>

## 添付資料

1. プロジェクト告知ポスター(縮小版)
2. プロジェクト企画書
3. 2016 年版クーポン付き日めくりカレンダー
4. 売り切れ告知写真

以上